



フラタナス

新宿区立四谷中学校 学校だより 第9号 令和5年12月4日

校長 安田 昭仁

今年の秋は残暑が長いかと思えば、あっという間に木枯らしの季節となり、秋の風情を楽しむには機を逸してしまったと感じています。そうしたうちに、社会全体の時間がせわしく流れる師走が来ました。そして、特に3年生にとっては一日一日が大切な時期となりました。期末考査前のある時間、3年生の教室を覗くと、まるで試験中かのように静まり返っていました。小声で「試験中?」と教員に聞くと、「進路指導しながら自習中です。」とのことで、あまりの集中度に驚かされました。

立派な大人・立派な子供

私は、もちろん大人です。しかも年齢を重ねている“いい大人“と言われる立場にいます。しかし、立派な大人かと問われるとなると自信はありません。役所への提出物の期限をすっかり過ぎてしまうこともあります。文章を書けば誤字脱字もあります。家庭では、面倒なことは後回しにもしますし、家族に腹を立てることもあります。テレビも見ますし、YouTubeも見ます。健康上よくないと分かっているながら、夜、就寝前に小腹がすいて間食をしてしまうこともあります。もし、そうした様々な行動について、「今、そのようなことをしている場合か。」「そんな暇があるなら家の片づけをなさい。」「こんな時間に食べると生活習慣病になる。」といったことを家族につきつけられたら、私であれば、そうやってきた家族に「そんな立派な大人がどこにいるのか。そういう自分はそれほど立派なのか。」と、言い返すことと思います。さらには、「ご近所のご主人はもっと…なのに。」「〇〇さんのお宅は…。」に至るものならば、と思います。もちろん、そうした指摘は間違っていないことも、よく理解はしていますが、そのとおりに行動できないことが多々あります。

同様に考えてみれば、それは大人も子どもも同じことであり、「そんな立派な子どもはいない」と気づかされます。「あなたの将来のため」「～すると(しないと)約束したでしょ」「今、勉強しないと将来幸せになれない」「私のような後悔はさせたくない」「ほかの友だちはもっと勉強しているのに」。子どもたちが、こうした言葉が投げかけられたとすれば、その言葉をどのような気持ちで受けとめているのだろうかと思像します。ここで確認したいことは、子どもたちには、それぞれ様々な個性があり、受けとめ方もそれぞれであるということです。厳しく叱られて奮起する、自身の非を認めて克服できる、他者と比較されて負けないように努力する子どももいます。しかし、自身を否定されたと感じて自信を失ってしまう、先のゴールが見えずにあきらめてしまう、友だちや兄弟と比較されて投げやりになってしまう子どももいるかもしれません。つまり、子どもたちは皆、多様な個性をもち、物事を感じ、考えているということを前提に、子どもたちに接したいと、私は考えています。

「私はこうして〇〇大学に合格させた」といったような書籍が書店に並んでいますが、その本の内容どおりにすれば、誰でも同じ結果になることはありません。もし、そうであるならば私たち学校の教員は必要がなくなってしまう。多様な個性の生徒一人一人を大切に見守りながら、少しでも生徒たちの力や可能性を引き出していきたい。保護者の皆様と共に、一つのアプローチでうまくいかなければ、別のアプローチを考えていきたいと考えています。

※次号に続きます。

校外学習(新苑学級)

11月2日(木)、新苑学級は校外学習として、日野市にある多摩動物園に行ってきました。JR、モノレールを乗り継ぎ約1時間をかけて、ようやく到着しました。二つの班に分かれ、班ごとに決めたルートに沿って見学し様々な動物の様子を観察しました。



校外学習(2年生)

11月30日(木)、2年生は校外学習を実施しました。午前には横浜方面(氷川丸、山下公園、マリニタワー等)に、午後は都内(国立科学博物館、美術館等)【チェックを受ける班】の見学地を班ごとに回りました。来年度の修学旅行に向けて、班行動の事前練習として、どの班も班員がお互いに協力しながら、しっかりと行動することができました。



「多様な進路の説明会」より

夏季休業期間中の8月2日に開催いたしました「多様な進路の説明会」には、十数名の生徒と保護者をご参加くださいました。終わりにアンケートにご協力いただきましたが、感想の中に「たくさんの選択肢があり、少し不安が減った」「それぞれ特色があり、子どもに合う学校を選択することが重要だと感じた」といったご意見をいただきました。こうしたご意見・ご感想をもたれることが、この説明会を開催した意図でもあり、少しでもお子さまの進路選択の一助になっていければと思います。そのアンケートの中に、「都立の総合学科と、高等専修学校の違いを知りたい」というご質問がありましたので、簡単にではありますが触れたいと思います。

【総合学科】

普通科は普通教育(中学校の科目と同様な教科)を主に学び、専門学科は工業・商業・農業などの専門的な科目を中心に学ぶ学校です。それに対し総合学科では、国語や理科などの普通科目から、情報や美術、国際関係などの専門科目まで、自分の興味・関心や進路希望に応じて幅広く学べる学科です。

【高等専修学校】

専修学校のうち、中学校卒業者を対象とした高等課程を設置する学校で、実践的な職業教育や、特定分野のスペシャリスト養成、社会での自立に向けた個に応じた教育など、生徒が「多様な学び」をする学校です。普通科目に加えて専門科目の実習・実技の授業が豊富で、社会で役立つ資格取得に力を入れており、国家資格が取得できる学校もあります。高校ではありませんが、課程により大学受験資格を得られます。

上記のような概要になります。双方共に、生徒の主体性や幅広いキャリア教育を主眼としていますが、総合学科は進学後に科目を選べますが、高等専修学校では入学前に方向性を決める必要があるため、検討される際はご注意ください。

令和7年度修学旅行

10月26日(木)、現1年生が2年後に実施する、令和7年度修学旅行の業者選定会をもちました。当日は1年生学年代表の保護者にもご参加いただき、2社によるプレゼンの上、今回は株式会社JTB様にお願いすることといたしました。

令和5年度新宿区薬物乱用防止

ポスター・標語コンクール

今年度の薬物乱用防止ポスター・標語コンクールにおいて、〇〇 〇〇子さん(2年)が会長賞を受賞しました。

「“バレなきやいい” 軽い気持ちと引き替えに
差し出せますか? あなたの人生」

【12月の主な予定】

1日(金)三者面談 ~8日(金)	15日(金)2年生普通救命講習
6日(水)校内研修会	17日(日)英語スピーキングテスト予備日
13日(水)1・2年生新宿区学力定着度調査	25日(月)終業式
14日(木)笑顔と学びの体験活動プロジェクト	26日(火)冬季休業日 ~1月7日